

定例公安委員会開催状況

平成31年3月7日（木）

平成30年中の遺失物・拾得物の取扱い状況について（総務部）

総務部長から、

平成30年中の遺失届は約10万3,000件（前年比（以下「同」）1.2パーセント減少）、物品約30万7,000点（同0.4パーセント増加）、通貨約8億3,000万円（同1.7パーセント増加）、拾得物は約38万4,000件（同1.1パーセント減少）、物品約55万3,000点（同3.7パーセント増加）、通貨約4億2,000万円（同2.7パーセント増加）であった。

拾得物のうち特例施設占有者の自社保管件数は約4万件、全体の10.0パーセント（同4.8ポイント増加）となる。

旨の報告を受けた。

静岡県警察留置施設に関する検討委員会の設置について（総務部）

総務部長から、

近年の被留置者の収容状況等を踏まえ、今後の本県警察留置施設の効果的な運用と業務の効率化、人員配置等に関する中長期的な計画を策定するため、静岡県警察留置施設に関する検討委員会、その下に静岡県警察留置施設に関する検討委員会幹事会を設置する。

旨の報告を受けた。

平成30年中の公務・通勤災害認定状況について（警務部）

警務部長から、

平成30年中の公務災害は157件（前年比（以下「同」）27件増加）、通勤災害は13件（同3件増加）であった。

旨の報告を受けた。

児童相談所と警察の情報共有等に関する協定の締結について (生活安全部)

生活安全部長から、

児童虐待に係る児童相談所と警察との緊急連絡等の情報共有については、平成24年10月に申し合わせた「児童虐待ケースの警察への連絡に関する基準」に基づき行われていたが、児童虐待の未然防止、早期発見、対応を強化するため、情報共有等に関する協定を締結し、連携強化を図ることとした。

協定締結式は、3月12日午後2時30分から、静岡県庁東館4階会議室において、本職及び児童相談所関係者が出席して行われる予定である。

旨の報告を受けた。

-
- ◇ 委員から「最近発生した児童虐待事案に対する社会的関心が強く、国会でも児童虐待が議論されている。」旨の発言があり、生活安全部長が「平成24年10月に申し合わせた『児童虐待ケースの警察への連絡に関する基準』は、全国に先駆けて実施したものであるが、年月が経過し、社会問題化している現状を鑑み、児童相談所と更なる連携や情報共有が必要ということから、『申し合わせ』ではなく、『協定の締結』とした。」旨説明した。

暴力団組織に係る武器庫事件の検挙について（刑事部）

刑事部長から、

本年2月6日、三島警察署及び薬物銃器対策課などが、暴力団組員の居宅等複数の関係場所に対する捜索を実施したところ、2か所から拳銃13丁及び拳銃実包約400発を発見したため、暴力団組員等の被疑者5人を逮捕した。現在捜査中である。

1回の捜索で拳銃13丁を押収した事例は全国的にもなく、本県においても平成に入り最多の押収となる。

旨の報告を受けた。